

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	1	理念の共有、理解が不十分	職員全員が理念の理解を深め、共有し、実践につなげる。	月に1回、ミーティングを固定化し、職員全員が参加することで理念の再確認や理解を深める場を作る。	3 か月	
2	28	職員全員にケアプランの説明、提示が不十分であり、ケアプランに沿った支援が出来ていないことがある。	全員がケアプランを理解し、ケアプランに沿った支援を行う。	記録ファイルにケアプランもファイリングし、常に確認できるようにする。また職員が居室担当としてモニタリングや担当者会議にも参加することで、より実践的なケアプランを作成する。また、医師や薬剤師などの照会についても担当者会議議事録に記載する。	6 か月	
3	35	看取りについて、不安を持つ職員もあり、全員が安心して看取りに取り組めていない。	職員全員が安心して看取りに取り組むことができる。	ミーティングなどで、職員が看取りについて気軽に話し合える場を作る。不安がある職員には個別でミーティングや実技の指導などを行う。また、看取りを行った後には振り返りをし、職員のメンタルケアを行う。	6 か月	
4	4 10	運営推進会議を活かした取り組みが出来ていない。また、本人・家族の要望が十分に反映できていない。	運営推進会議を通して、本人・家族の要望などを反映した運営ができる。	運営推進会議の議事録を家族にも送付し、参加を促すことで、要望を言いやすい環境を作る。また、地域の方への開示も行い、参加者の輪を広げ、幅広い意見を反映できる環境を作るとともに、事業所の活動などを知って頂く。	6 か月	
5	2 37	地域とのかかわりが不十分。	地域とのかかわりを持ち、日頃の活動だけでなく、防災の面でも協力できる体制を作る。	地域の行事などに積極的に参加する。また、防災についても地域で協力できるよう、はこうまネットなどを通じて体制づくりを行っていく。	6 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		
実施段階		取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)
1 サービス評価の事前準備		<input type="checkbox"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="checkbox"/> ②利用者へサービス評価について説明した
		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input checked="" type="checkbox"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他(職員にサービス評価の意義について説明を行った)
2 自己評価の実施		<input checked="" type="checkbox"/> ①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="checkbox"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="checkbox"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="checkbox"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="checkbox"/> ⑤その他()
3 外部評価(訪問調査当日)		<input checked="" type="checkbox"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input checked="" type="checkbox"/> ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input checked="" type="checkbox"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="checkbox"/> ④その他()
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開		<input type="checkbox"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="checkbox"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input checked="" type="checkbox"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="checkbox"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他(次回運営推進会議で報告予定 職員全員ではないが個別に話し合った)
5 サービス評価の活用		<input type="checkbox"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input checked="" type="checkbox"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input checked="" type="checkbox"/> ③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input checked="" type="checkbox"/> ④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他(職員全員と個別での話し合いの場を持った)